

あとがき

本号の特集は、獨協医科大学神経内科の平田幸一教授にゲストエディターをお願いした rest-less legs syndrome (RLS) である。RLS では、夕方から夜に静かにしているときに、下肢の不快感とともに下肢を動かしたいという衝動に駆られ、下肢の運動でこの不快感や欲求は減少し、消失する。既に 1960 年に Ekbom により詳細な記載がありよく知られた症候群ではあるが、日常診療でよく知られているとは言い難い。今回の特集では、この有名ではあるがちょっと縁遠い RLS について疫学、病態生理、症候と診断、二次性 RLS、そして治療とその詳細を網羅していただいた。筆者自身の驚いたことの 1 つは、その有病率の高さであり、欧米では 5~12%、わが国では 1.1~1.8%とされており、一般にも知られるようになっていことから受診する患者も増えているとのことである。今回の特集が、本邦における RLS 診療と患者さんの ADL/QOL の向上に大きく貢献するものと期待される。特集に引き続き、ドパミン仮説など RLS と関係があると思われるレム睡眠行動異常症 (RBD) の歴史的展開とその病態生理について総説を掲載していただいたのもタイムリーである。

特集以外では、まず厚生労働省の運動失調班を中心に行われた、新しい小脳性運動失調症の重症度評価スケール SARA (Scale for the Assessment and Rating of Ataxia) の信頼性に関する検討を紹介したい。従来の ICARS (International Cooperative Ataxia Rating Scale) に比べてはるかに簡便な SARA の信頼性が十分に高いことが証明され、今後、広く普及していくものと思われる。そのほか、多発性硬化症のミトキサントロン治療や内頸動脈ステント留置術 (CAS) に関する総説、急性期脳梗塞診断標準化の原著など時宜に合った重要な論文を多くご投稿いただいた。ここにご執筆の先生方に感謝申し上げるとともに、読者の皆さまに十分ご活用いただくことを祈念する次第である。

(水澤英洋)

編集顧問

生田 房 弘
臺 弘
大友 英 一
金澤 一 郎
酒田 英 夫
佐野 圭 司
島津 浩
杉田 秀 夫
高倉 公 朋
塚田 裕 三
中里 洋 一
彦坂 興 秀
平山 恵 造
藤澤 浩四郎
真柳 佳 昭
萬年 甫
水野 美 邦
柳澤 信 夫

編集委員

岩田 誠
(編集主幹)
石塚 典 生
糸山 泰 人
内山 真一郎
梶 龍 兒
河村 満
高坂 新一
作田 学
辻 省 次
寺本 明
中込 忠 好
中野 今 治
水澤 英 洋
(五十音順)

BRAIN and NERVE

(第 61 巻 第 5 号)

2009 年 5 月 1 日 (毎月 1 回 1 日発行)

定価 2,730 円 (本体 2,600 円 + 税 5 % (配送料実費))
[2009 年、年ぎめ予約購読料 35,460 円・MedicalFinder パーソナルオプション付 46,100 円 (配送料弊社負担)]

E-mail: bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701

(山内・小藤・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 ㈱アイワード (011) 241-9341

広告申込所 ㈱丹水社 (03) 3561-1323

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2009, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は ㈱医学書院が保有します。
- JCLS (日本著作権管理システム委託出版物)
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に ㈱日本著作出版権管理システム (電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199) の許諾を得てください。